

地域住民福祉活動 情報交換会報告

葛飾区社会福祉協議会では、身近な地域で支えあうしくみを築き、そこに暮らす住民が主体となり様々な課題の発見・解決を図る取り組みである小地域福祉活動を19の連合町会を基礎エリアとして、現在、16地区の自治町会連合会と民生児童委員協議会のご協力のもと活動を展開しています。

今回は、前半、TBSラジオの看板番組である「毒蝮三太夫のミュージックプレゼント」の番組制作側から感じる、人と人がつながる地域（まち）についてお考えを伺い、後半は、豊島区における「みみずくサロン活動」を体験し、意見・情報交換をしながら、サロン活動の意義や魅力を再認識し、更なる小地域福祉活動の推進と、よりよい地域づくりにつながる学習会を開催しました。

なお、自治町会や民生委員児童委員、サロン実施団体、地区センター長など、115名の方々にご参加いただきました。

1. 日 時 平成28年 3 月 3 日（木）午後 2 時 ～ 4 時30分

2. 場 所 ウェルピアかつしか 1階 ボランティア活動室

3. 内 容

(1) 報 告 『葛飾区における小地域福祉活動の取り組み状況について』

報告者：石川 克巳 （葛飾区社会福祉協議会 係長）

(2) 基調講演 『清水ディレクターがママちゃんと見た！ 人がつながる地域（まち）とは』

講 師：清水 是 さん

（TBSラジオ「毒蝮三太夫のミュージックプレゼント」担当ディレクター）

(3) 体 験 『としま・民生委員児童委員の談話室みみずくサロン出前講座』

講 師：みみずくサロン さくら班 （長崎第一地区民生委員児童委員協議会）

(4) ま と め 『みみずくサロン流！ 地域サロンのポイントとは？』

講 師：山本 ナミエ さん （長崎第一地区民生委員児童委員協議会）

も く じ

当日の様子・・・・・・・・・・・・・・・・	1
地域住民福祉活動情報交換会参加者アンケート結果・・・	3
参加者からの質問及び回答・・・・・・・・	11

当日の様子



基調講演：清水さん



講師：山本さん



みみずくサロン：準備



みみずくサロン：打合せ



みみずくサロン：受付①



みみずくサロン：受付②

当日の様子



みみずくサロン：スタート



みみずくサロン：ちょっとー



みみずくサロン：朗読会



みみずくサロン：健康体操①



みみずくサロン：健康体操②

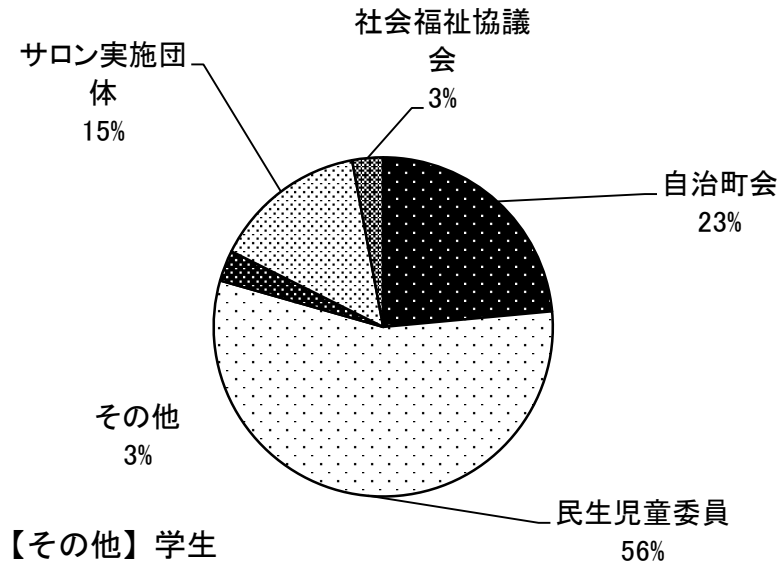


みみずくサロン：ふりかえり

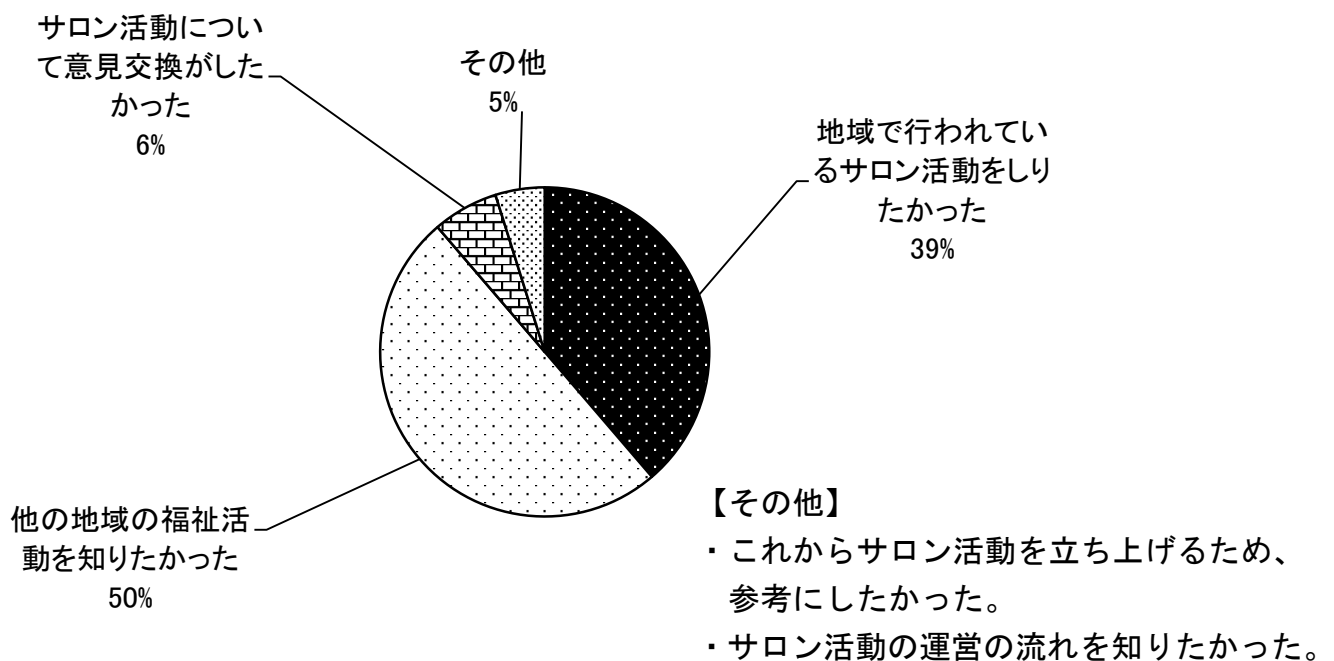
地域住民福祉活動情報交換会 参加者アンケート結果

参加者：115名

◎ 所 属

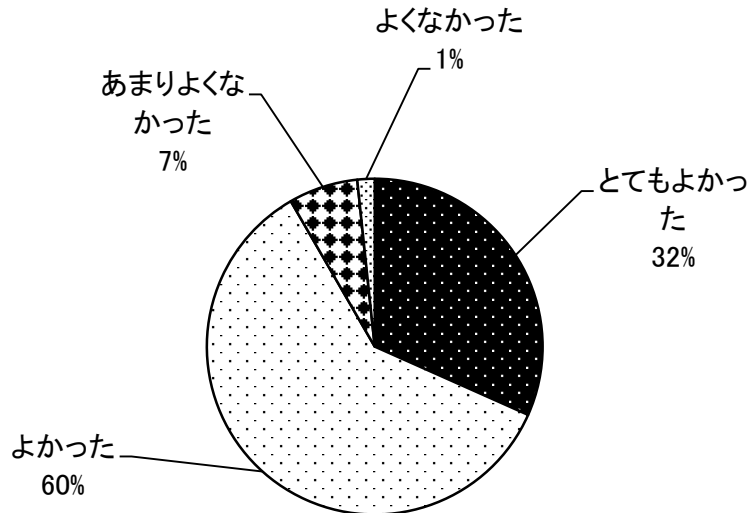


1. この情報交換会に参加された理由をお聞かせください？



2. 『基調講演』については、いかがでしたか？

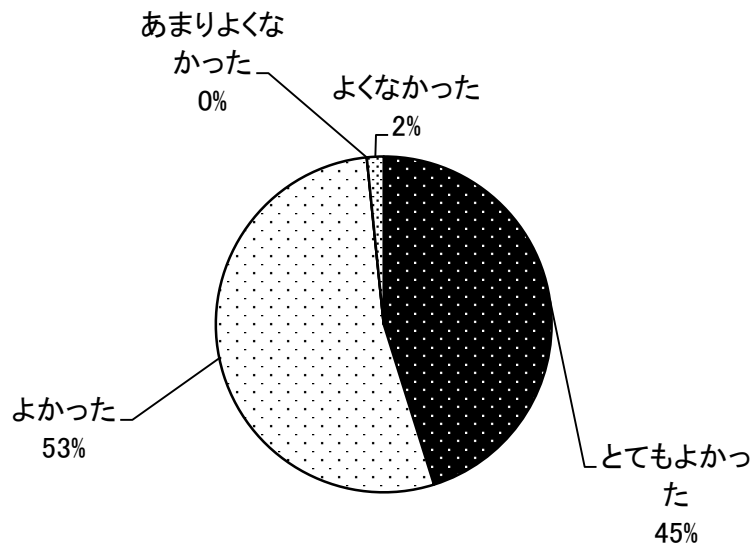
「清水ディレクターがママちゃんと見た！人がつながる地域（まち）とは？」について



- ・説明がわかりやすく、楽しかった。
- ・虻さんの人柄が、とてもよくわかりました。番組のウラ話を、もっと聞きたかったです。
- ・ラジオで毎回聞いているので、特に関心がなかった。
- ・一度しか来ていただけないと聞いていたので、無理ですかね。清水さんの言われたとおり「愛の毒舌」は、心に残っております。虻さん、たくさんの方々に「愛」をあげてほしいです。
- ・時々（車の移動中など）聞かすが、やさしい番組だと思っておりました。これからも、永く続いてほしいと思います。
- ・ぜひ、お花茶屋地区でも虻さんの件でお願いしたいと思います。
- ・魅力的なお年寄りになるための三か条の話は、心して聞きました。
- ・ママちゃんの人間的なところ、口は悪いがやさしい人柄など、お話が聞けてよかったです。
- ・ママさんと呼んでみたいと思う。
- ・素敵であれ！チャーミングであれ！笑顔であれ！の三か条を見習っていこうと思いました。かまってくれる！つながっている地域がとても大事だと思いました。
- ・ママちゃんとの報告のみのように取りました。人がぶつかる地域について、もう少しアドバイスがほしかった。
- ・ママちゃんの日頃の行動などがよくわかって、心が温まった。大変よかったです。
- ・男性を表に出したい！人とのつながりをつなげていたい！ママちゃんが、うちの地域にいればいいのに。
- ・楽しくわかりやすかった。
- ・とても面白く、お話されてよかったですと思います。
- ・ラジオは、あまり聞きませんが、これからは時間を作って、聞きたいと思います。
- ・人のつながりについて、もっと話を聞きたかった。
- ・番組を聞いたことがないので、よくわかりませんでした。
- ・ママちゃんが、いつまでも元気で、いつまでも番組が続きますように願っております。
- ・楽しいお話でした。
- ・ママちゃんは、地域を大事にしていると思った。これからも、ママちゃん頑張れ！
- ・とても聞きやすく、楽しいお話でした。人が人をつなげる大切さを実感しました。男性がもっと出て来てほしい。これが課題です。

3. 『基調講演』については、いかがでしたか？

「としま・民生委員児童委員の談話室 みみずくサロン出前講座」について



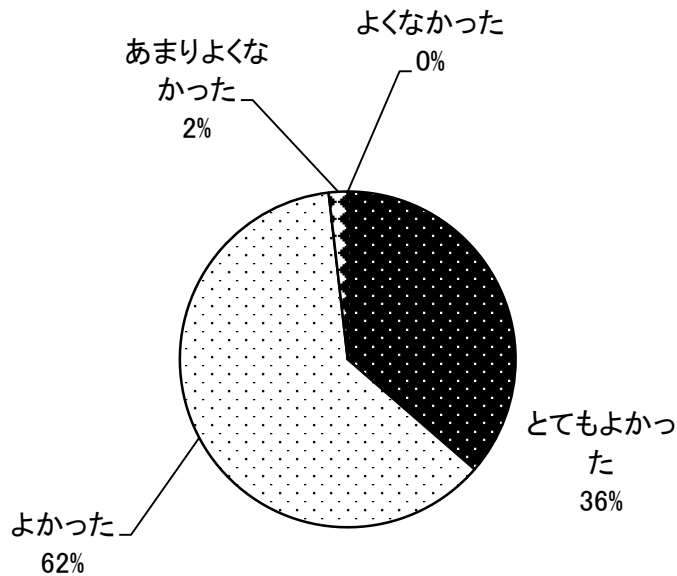
- ・司会者をはじめ、皆さんがわかりやすく演じてくれました。素晴らしいサロンだと思いました。ぜひ、参考にしたい。
- ・限られた時間で、大変よかったと思う。あまりたくさんだと参加者が疲れると思う。
- ・とても流れがよくわかりました。CSWさんのお話や施設長さんのお話がとてもよかったです。お客さまも安心すると思います。
- ・実際の様子を見ることができてよかったです。
- ・手作りの温かいサロンの様子がよくわかりました。
- ・ものすごく、ご接待をしているという感じがした。体操は、とてもよかった。遠方から、来ていただきありがとうございました。
- ・お年寄りでも、できるリンパの体操はとてもよかった。
- ・金魚鉢方式の実習では、私たちのサロンは、健康体操をやっていますが、客観的にみるとこんな風に見えるのかと思いながら、一緒にやれてよかったです。石川さんの企画力と実践力に感謝します。
- ・サロン活動を、中々、客観的に見る機会がないので、今日は、本当に勉強になった。ありがとうございます。お疲れ様でした。
- ・手際よく、素晴らしい出来栄でした。毎月、このようなサロンを行うことは大変だと思います。
- ・とても丁寧すぎて、大変のようにも思えた。
- ・とても参考になりよかったと思いましたが、月1度というのは、大変ではないのかなあと思いました。
- ・サロン体験は、本当によかったです。あといくつかの事例を具体的に見たかったです。
- ・昨年度は、お話を伺って、今年は、具体的にサロン活動を実演していただき、サロン活動の全体像のイメージができました。ありがとうございました。

つづき

- ・ここまで、力を入れて準備をされたことに敬意を表します。お疲れ様でした。
- ・スタッフのまとまりがよかった。細かいところまで、参加者の気遣いが伺われた。
- ・多くの協力者を得て、上手に運営されていると思った。
- ・サロン参加者への対応が、きめ細かくわかりました。スタッフ、特に司会進行、解説された山本さんは、民生委員とは思わないプロ級でした。
- ・司会の方が、とてもよかったです。私も、こんな上手にできたら司会をしてみたいです。
- ・朗読が、とてもよかった。
- ・短い時間での順を追った、きめ細かい紹介、とてもわかりやすかった。まるで、私がその中のスタッフのように、次の対応が考えられた感じがしました。
- ・朗読を久しぶりに聞けて、とてもよかった。
- ・月1回のサロンでは、見守り活動としては、いかがでしょうか？
- ・同じような活動をしているので、参考にしたいと思った。
- ・説明しながら、実際に体験形式でやってくれたので、サロン活動の全体がよくわかりました。ありがとうございました。
- ・サロン活動の流れがよく理解できた。スタッフの動きについて、とても勉強になりました。サロン終了後の、反省会はとても大事ですね。
- ・スタッフの心が一つになっていると強く感じた。
- ・皆さんの活発な活動ぶりが参考になりました。
- ・リアリティが伝わってこなかった。
- ・自分の地域での小地域福祉活動の取り組みの勉強になりました。サロンの流れがよくわかりました。楽しかったです。
- ・皆さんが、一生懸命やっていたことが感じられました。
- ・かみくだいた表現のサロン講座、とてもわかりやすい内容でした。実態が、わからない方には、大変参考になったと思います。サロン活動に取り組んでいる者にとっても、サロン活動を客観的に捉えることができ、とても勉強になりました。
- ・サロン参加者に名札を付けるのは、とてもいいことですね。名前がわかると、話しやすく、顔と名前が一致して覚えられるので、次に会った時に、話しやすいですね。
- ・経験とスタッフの養成が必要と感じた。
- ・大変、参考になりました。
- ・実施にスタートから、準備の様子などを拝見できてよかったです。細かな説明で、よりわかりやすかったです。

4. 『まとめ』については、いかがでしたか？

「みみずくサロン流！地域サロンのポイントとは？」について



- ・最後の反省会（ふりかえり）、本当に必要だと思いました。
- ・ポイント、ポイントがとてもわかりやすかったです。本当に参考になりました。
- ・目的は、どの地区も一緒に、又、問題もたくさん含んでいると思います。一つ一つ声をかえることで広がってくる。地域へのPRも大切だと感じた。
- ・飲み物には好みがあり、一人一人に違いに接するのが良かったと思います。
- ・皆さんの動きは、テキパキして良かった。
- ・月1回とのことで、皆さん（スタッフ）の準備が大変なことと思います。
- ・とても、参考になりました。私たちのサロンでも、100円をいただいております。
- ・地域サロンのあり方、流れがよくわかった。反省会も大切であることがわかった（当日のうちに皆で確認しあうこと）、次回の参考になる。
- ・その日のうちにまとめ（反省会）を行うことは、次回以降により結果をもたらすと思った。
- ・プログラム、全体の流れなど、細かいところまで話し合い参考になりました。
- ・毎回、やるのが違うのは大変かな……。でも、来る人は楽しみにしてしてくれると思う。
- ・参加者の中から、サロンのお手伝いをしてくれる元気な方を探して手伝ってもらおうとか、参加者の特技、知識などを披露してもらおうということは、とてもいいと思いました。
- ・その日、その時の反省はとても必要なことと常日頃思っていることです。その反省を皆で検討しながら、話し合うことはよいことだと思います。皆の意見は、大切なことです。
- ・スタッフの方々に連携プレーは、大変良かったと思います。男性の方の参加は、頼もしいかぎりです。
- ・早口で、よく聞き取れませんでした。
- ・まずは、3年は努力して続けることですかね。
- ・ポイントをわかりやすく、説明していただきよく理解できました。

つづき

- ・会長さんが火災等についての説明がよかった。また、民生委員の位置づけと福祉制度やサービスへのつなぎ役という立場の説明がよかった。さらに、後片付けを参加者全員で行うのが良かった。大変、参考になりました。
- ・ポイントは、参考になりました。

5. 今回の情報交換会の内容で共感し、影響を受けたと感じること、自分が学んだと思う3つのことをお書きください。

- ・みみずくサロンのスタッフの方々は、役割分担がきちんとできていて、動きがスムーズだった。目的を理解して動いていた。
- ・受付を、当日の参加者をお願いすることは、参加者も運営する立場に立てるのでよいと思った。スタッフの負担を軽減することにつながる。
- ・サロン開始時に、災害時の避難の件やCSWからのチラシの配布などのお話があり、地域で役立つ情報提供は、今後、必要だと思った。石川さんが、以前、地元警察署の生活安全課のおまわりさんと呼んで、オレオレ詐欺の最新情報を話してもらいましょうよとか、言っていた意味がわかりました。
- ・人、金、場所の3本柱。
- ・スタッフ力が大切。
- ・手際がよかった。
- ・リンパ体操。
- ・魅力的なお年寄りになるための三か条。
- ・サロン活動に参加することで、自分の中に新しい何かを発見できるのではと思いました。これからもサロンなどの地域活動に参加したいと思います。
- ・体操。
- ・朗読。
- ・スタッフのチームワーク。
- ・打合せなど事前の準備の徹底。
- ・親切、心配り。
- ・スタッフが、まず楽しむこと。
- ・おもてなしの心。
- ・参加者へのお見送りは、とてもよいと思う。自分に置き換えて考えると、お見送りされると、気にかけてくれているとか、大事にしてくれていると感じる。
- ・ふりかりは、必要だと思いました。
- ・全員が楽しむ。
- ・人数が少なくても続ける。
- ・サロンのあり方が種々あるのだと思いました。
- ・サロンの準備、進行が具体的によくわかった。
- ・実例で、会場づくりなど配置などよくわかった。
- ・チームワークがよく取れていたのが印象的だった。

- ・豊島区の方は、大変努力されている。
- ・パターン化して継続的に行わなければならない。
- ・優秀な司会者がいない。社協の石川さんに毎回、お願いできないし。
- ・一人一人を大切にしている思いやりの心を感じた。
- ・準備や打合せが大事だと思った。
- ・10人ぐらいの少人数の参加でも、よいのかと思った。
- ・参加者に対するスタッフの声かけが素晴らしい。
- ・事前の準備（打合せ）、スタッフで共有することは大事と思った。
- ・お客さまをお迎えする、やさしさを感じた。
- ・今回、さくら班の一日の流れを見て、非常に参加になった。
- ・みみずくサロンの出前講座は、人を大事にする対応がよかった。
- ・清水是講師の人とのつながりのお話。
- ・サロン活動の反省を、きちんとやることは大事。
- ・開始時間も、きちんと時間通りにやることの大事さ。
- ・サロンの継続性の心得を学びました。
- ・体操がよかった。
- ・手作りのお土産がよかった。
- ・人とお金と場所の3本柱が大切。
- ・魅力的なお年寄りになるための三か条。
- ・今回のみみずくサロンは、場所が特別養護老人ホームということで、身近にある福祉施設とのコラボは、グットアイデアですね。
- ・月1回、続けていくことで、口コミや友だちを連れてきてもらったり、継続が大切だと思う。
- ・なるべく、飽きさせないように新しいことも考えてあげたい。
- ・これから、サロン活動をはじめたいと思っていたので、とても参考になった。
- ・一人一人お出迎えとお見送りは、とてもいいことだと思う。
- ・お土産は必要かな？
- ・朗読をしていただいたこと。
- ・簡単な体操は、大変よかったと思います。
- ・助成金。
- ・楽しいサロン、無理はしない。
- ・無料の場所を活用する。
- ・福祉施設の協力が、とても大きいと思います。
- ・みみずくサロンの出前講座「ふりかえり」とても大切だと思いました。活動の様子がよくわかりました。
- ・スタッフの協力体制が大切。
- ・先導役が必要であること。
- ・情報の伝達方法が大切。
- ・NPO活動に注目した。
- ・サロンの具体的内容の理解。
- ・学生の参加。
- ・会場の確保。

- ・スタッフの充実。
- ・司会者の養成。
- ・利用者が楽しく参加できるような工夫がよかった。
- ・利用者が次回も参加できるように、日時の予告が必要。
- ・毎月でも、継続できるような努力。
- ・豊島区は、民生委員がサロンを通じて、プロにつなげている。CSWの存在は、地域すると頼もしい。葛飾区には、その制度はない。

4. 本日、または今後の地域住民福祉活動情報交換会について、ご意見や要望等があればお書きください？

- ・とても勉強になり、私たちの地域でも実践したいと思います。石川さんお疲れ様でした。最近、地域に顔を見せないなので、顔を忘れそうです。お持ちしております。
- ・マイクの調整は、事前をお願いしたい。大変貴重なお話のため。
- ・地域の方々のサロン活動、情報交換会を行いたい。
- ・専門機関から、こんなことができますよ！という情報提供をいただく機会があるとよい。
- ・サロンを定期的に続けるには、かかわれる人間がある程度必要です。民生委員も仕事をされている方が多くいらっしゃるの、大変ですね。しかし、一日中、一人で家にいる方には、サロンという外に出るきっかけとなる居場所は必要だと思いました。
- ・詳しく教えていただき、とても参考になりました。「みみずくサロン」の皆さん、ありがとうございました。
- ・今回のこの会は、それぞれサロン活動を行っている方の集まりのように思いますが、本日のお話は如何なものかと存じます。
- ・マイクの調整がされていなかったの、事前にマイクの調整を行ってほしかった。
- ・注意点や困りごとなど、事業を行うにあたり解決のための情報がほしい。
- ・受付で待ち時間があったのが、どうかなあと思いました。
- ・スタッフの中に男性がいらしたのは、とても心強いことだと思います。中々何かするにも女性だけの方が多いので、とてもうらやましいです。
- ・石川さん、今回が一番良かったです。サロン活動の実演をやる研修会は、都内で初めて取り組むのでは。毎回、石川さんの周囲の声に耳を傾け、それに応えようとする姿勢は、地域から見てると学ぶことばかりです。蝮さんが言っていました「皆さん、石川は一生懸命に地域のことを考え、取り組む男ですよ、皆さんで応援をしてやってください。よろしく頼みますよ。」と言っていました。
- ・福祉管理課でサロン事業の助成金制度があるのを初めて知りました。調整と準備、そして当日の運営、一人で苦戦されていましたね、ご苦労さまでした。
- ・参加させていただき勉強になりました。ありがとうございました。
- ・住民が高齢化していく中で、長期的な視点で、社協、民生委員、NPO等、どんな立ち位置でサロン活動をはじめ、地域の活動にかかわっていくのでしょうか？ そんなことを話題した会をやっていたらと思います。
- ・今回、情報交換する時間がなかったのが残念でした。次回、情報交換があれば参加したい。
- ・みみずくサロン出前講座を見て、私たちの地区でもサロンを実施したいと思いました。

参加者からの質問及び回答

Q 1. 長崎第一地区民児協の班活動の目的、そして班編成と活動内容について、教えてください。

A ⇒ 豊島区の民生委員活動は6地区に分かれて担当しています。民生委員の活動は個人委嘱であり、長い間個人で活動してきました。

しかし、私たちの暮らしている社会の構造が複雑化され、多様化されてきたため個人で対応することが難しくなってきました。ケアする側のメンタル面にも問題が生じてきました。そこで「班活動」を行うことによって委員同士が情報を共有し、お互いに学習することができます。

各班は二つの町会くらいで構成され民生委員は6名くらいです。高齢者を対象にセーフティネットを兼ねた「サロン」に重要性を感じ、民生委員をスタッフとした「コミュニティサロン」を平成22年に立ち上げました。

民生委員の把握している高齢者の情報を活かし、「孤立している高齢者の社会参加を促す場所」作りをしています。また、私たちの班は、長崎第一地区でも端にあり、新宿区、中野区、練馬区に隣接しているため、そちらからの参加者もいます。

私たちは豊島区の民生委員ですが、東京都の民生委員でもあるので地域を超えて支援、見守りが出来ればより素晴らしい活動となると思います。

= (山本) =

Q 2. 長崎第一地区民児協が行っているサロン活動について、自治町会や福祉施設などとの連携の有無について、教えてください。

なお、連携されている場合は、どのような連携をされていますか？

A ⇒ 「みみずくサロン」は長崎第一地区共通の名前です。各班に分かれていますので、私たちは「さくら班」です。平成23年に現在の開催場所「特別養護老人ホーム風かおる里」でオープンしました。二つの町会、老人会、区民ひろば、高齢者相談センター、社会福祉協議会、地域担当の病院等に挨拶をし、町内会には2カ月回覧をしていただきました。

その後、季節に応じて病院の先生に講師として来ていただき、高齢者に必要な情報を提供していただきました。また、警察の方には防犯課の方に来ていただき、「オレオレ詐欺」などの情報を語っていただきます。

常に、社会福祉協議会のCSWの方が参加してくれ大切な情報を提供してくれます。(情報の発信源としての役割も担っています。)

毎月町内会の掲示版にチラシを貼り、高齢者のお宅までポスティングを行う時もあります。開催場所が福祉施設なので、施設を利用される方々が一緒に参加されることもでき、楽しい集いの場所になっています。

= (山本) =

Q 3. 長崎第一地区民児協の班活動としてサロン活動をされていますか？

民生・児童委員以外に、例えば自治町会や元民生・児童委員がスタッフになっていることはありますか？

A ⇒ 長崎第一地区は5つの班に分かれて「班活動」を行っています。OBを含む民生委員によって運営されています。普段は現役の6名で行っていますが、大きなイベントの時は手伝ってくれます。各班は二町会の民生委員で構成されています。私たち「さくら班」のミッションとして「元気な高齢者にサロンのお手伝いをお願いする」ことにしています。受付の名札付けは民生委員とペアになって行ってもらいます。

また、ピアノが弾ける方はサロンの中で演奏してもらいました。植木職人の方に季節の草花について語ってもらいます。

このように地域住民の方にお手伝い、講師をお願いすることはあります。また、特別養護老人ホームをお借りして、サロンを開催していますので、その施設長はスタッフとして動いてくれています。

有難いです。

= (山本) =

Q 4. サロン活動をやりはじめた当初、想定外の人数が参加して困ったことはありますか？

例えば、折り紙や工芸用のキットが足りなくなったとか、その時は、どのような対応をされましたか？

A ⇒ やはりサロンをやり始めた当初はそんなに沢山の方々が見えるわけではなく、知り合いのサークルの方々に声をお掛けして参加してもらいました。

基本的に「人は楽しいところには集まる」という信念の下、頑張っ続けてきました。現在では、30名を超える参加者で「手作りの物」を行う時は余分に作ります。クリスマスのツリーを作成した時は35個準備をしましたが、それでも足りなかったのが後で作って差し上げました。

何でも余分に準備しておくといいでしょう。参加者が多いのは有難いです。口コミで増えていくことが確実です。どんなにチラシを作っても高齢者は読むのが苦手です。知り合いの人から人へと、「サロン」が楽しいから行きましようと言って貰えるようなサロンを工夫しましょう。

= (山本) =

Q 5. さくら班が活動する上、会費や周知（集客）・申込方法、運営費、協力者の確保は、どのようにされていますか？

A ⇒ 私たち「さくら班」のサロンは、地区活動の中の「班活動」としてスタートしました。民生委員のアウトリーチ事業として始めたので、民児協の方から活動資金ができました。しかし、5年経過して行くと参加者も増え活動資金が不足してきました。そこで、社会福祉協議会の「地域活動支援金」の助成を受け二本立てで運営しています。参加者は無料ですので募金箱を置かせてもらい、クリスマスツリーなど実費が掛かった時は、みなさん募金箱に入れてくれます。

基本的に、誰でも参加オーケーなので事前の申し込みは要りません。誰でも楽しんでいただけるようプログラムを作成しています。事前にチラシでプログラムの内容を掲示し、興味のある方は参加してくれます。

男性の参加者を呼び込みたいのですが、男性は女性と違いつるまないので講師としてお願いすると友だちを連れてきます。

また、プログラムを「落語」「シネマ」などにすると男性もきます。サロンへの協力者も参加者の中から元気そうな方を見つけお手伝いを依頼しても良いと思います。

サロンの周知は、ずばり「口コミ」です。悪い評判も良い評判も人の口から伝わります。

= (山本) =

Q 6. さくら班の皆さんは、どのように参加者が楽しめるプログラムを決めていますか？
また、年間計画を立てていますか？

A ⇒ どんなサロンも年間の計画は立てなければなりません。年度初め [行政にあわせ4月が良いでしょう]、1年間のおおよその予定を立て、講師の先生にお願いする場合は3カ月前にはお願いしましょう。

参加者が楽しめるプログラムは、自分たちが楽しめるプログラムです。自分がどんなサロンに出たいかをまず考えて下さい。1人で参加した時プログラムもなく知らない人とおしゃべりを出来ますか。そこに何か楽しいこと、歌、体操、手作り、落語なんかが繰り広げられていたら参加しやすいですね。

またスタッフの方は木を遣って1人参加の方についてあげるのもいいですね。年間のプログラムを決めるときは、季節に合わせた行事を取り込むのもいいでしょう。ひなまつり、七夕など1人暮らしの方は、なかなか触れ合うチャンスがないので思う存分楽しんでいただきましょう。

また、お金に余裕が出来たら食べ物を出してあげるのも喜ばれます。ひなまつりの時に「あられ」や和菓子など差し上げたら喜ぶますね。ただ、食べ物は場所によってはダメなところもありますので注意してください。楽しいサロンをどうぞ開催して下さい。

= (山本) =

Q 7. サロンの際、最初から最後までいらして、気になる方には石原さんからお声かけするというのはあるのでしょうか？

A ⇒ 気になる方がいらっしゃれば、まずはスタッフである民生委員さんに、その方の様子について状況確認をした上で、一緒に関わることもあれば、CSWが単独で声をかけることもあります。できるだけ、民生委員さんの活動をサポートする形で参加していますので、まずは民生委員さんが気になる方へ声をかけ、その上でより専門的な関わりが必要な場合は、CSWにつないでもらっています。

= (石原) =

Q 8. サロンの冒頭で「何でも相談に乗ります」と伝えていましたが、相談に乗るタイミングは、お見送りの時でしょうか？

(人数が多い中では、中々相談しにくい場合は、後日、対応するのでしょうか?)
あと、今まで、どのような相談を受け、どのような支援につながりましたか？

A ⇒ ① 相談に乗るタイミングについて

サロンの中での何気ない会話で、日頃の不安や気になることを話されますので、あらたまった形での「相談」はほとんどありません。

何気ない会話の中から不安に思っている事を聞き、助言する事の方が多いです。また、サロン開催の中で、相談できるところがある事を知っていただき、後日あらためて相談頂くこともあります。

② どのような相談があったか？

一人暮らしのお年寄りで、「今は何も困っていないが、自分の生活状況や緊急時の連絡先などを行政側に知っておいてもらい。何かあった時、スムーズに支援してもらえるように準備をしておきたい」という相談がありました。

管轄となる地域包括支援センターで高齢者の方の実態把握を行い、何かあった時にもスムーズに対応できるような取り組みを行っている事をご案内しました。

= (石原) =

Q 9. 葛飾区地域ふれあいサロン事業助成金とは、どんな助成金の制度になっているのでしょうか？

A ⇒ 葛飾区内において、地域ふれあいサロン事業を行っている団体を対象としています。

助成金の対象経費については、サロン事業の開始時に要する備品購入及び施設修繕に関するもの、また、サロン事業に運営に要する施設使用料、賃借料、広報費、消耗品費、講師謝礼及び保険料となります。

助成金の交付金額は、以下のとおりです。

	開設時間	上限金額
①	年間を通して週5回程度、かつ、1回当たり4時間以上サロン事業を実施している場合	50万円
②	年間を通して1週当たり12時間以上サロン事業を実施している場合（①の項に掲げる場合を除く）	30万円
③	年間を通して1週当たり8時間以上サロン事業を実施している場合（①及び②の項に掲げる場合を除く）	20万円
④	年間を通して1週当たり4時間以上サロン事業を実施している場合（①、②及び③の項に掲げる場合を除く）	10万円
⑤	年間を通して1週当たり2時間以上サロン事業を実施している場合（①、②、③及び④の項に掲げる場合を除く）	5万円

※ 詳細につきましては、葛飾区役所福祉部福祉管理課企画係まで、お問い合わせください。

＝（福祉管理課）＝